



International Day of People with Disability

1983年から10年間、「国連・障害者の10年」と定められ、障害者に関する世界行動計画が進められてきました。その10年のしめくりに決められたのが、この国際障害者デーです。日本ではこの国際デーができる前から、12月9日を「障害者の日」としていたこともあり、12月3日から12月9日を「障害者週間」とすることを法律で定めています。

もし、あなたが…

✎ 障害には、大きく分けて「身体障害(体)」「知的障害(脳)」「精神障害(心)」の3つがあります。もしあなたが障害者だったら…どんなことが起こりそうか、考えてそれぞれ下を書いてみよう。



もし、目が全く見えなかったら…



もし、手足が使えなかったら…



もし、読み書きができなかったら…



もし、気分がずっと落ち込んでいたら…

世界の障害者データ

- 世界の障害者は**全人口の15%、または10億人**ほどと言われている。
  - そのうち1億1000万人～9000万人が日常生活を送るうえで「**深刻な困難**」に直面。
  - 障害者の**80%が途上国**に住んでいる。
- 障害のある子どものほうが**進級や進学が遅くなる**ことが多い。
- イギリスでは、障害のある人が健康な人と同じ生活を送るために、収入の約70%の**追加のお金が必要**だと言われている。

にも、かかわらず…

- ・ 職場で不利な扱いを受ける
- ・ じろじろ見られたり、避けられる
- ・ 差別的なことを言われる
- ・ 学校でいじめを受ける
- ・ アパートの入居を断られる

…など、障害を持っていることで、ほかの人々と同じように生活できない事実もあります。もしあなたが100人のうちの15人だったら、どう思いますか？

Together, We Can CHANGE the World  
はじめてみよう！あなたにできること。

もっと国際デー！

関連情報を調べてアクションをおこしてみよう！

・ 障害を持つ方が、ほかの人と同じように生活を送るために、あなたが実践できることを考えてみよう。

FTCJはあなたの好きなこと・特技を活かした国際協力をおすすめしています。あなただからこそできる国際協力を一緒に探しませんか？全国のメンバーが様々なアクションを起こしています。

アクションのヒントはコチラで検索！

🔍 FTCJ 活動ヒント 🔍 検索

